



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社トプコン 上場取引所 東  
 コード番号 7732 URL <http://www.topcon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 (氏名) 横倉 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 経理グループ統括  
 (氏名) 小川隆之 (TEL) 03 (3558) 2536  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	21,950	9.1	△1,584	—	△2,205	—	△1,578	—
22年3月期第1四半期	20,112	△38.9	△1,858	—	△1,990	—	△1,816	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△17.05	—
22年3月期第1四半期	△19.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	122,825	38,458	30.3	401.48
22年3月期	125,539	41,689	32.3	437.17

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 37,184百万円 22年3月期 40,490百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	48,000	10.8	0	—	△600	—	△900	—	△9.72
通期	104,000	9.6	2,700	92.2	1,400	156.8	200	49.5	2.16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	92,688,342株	22年3月期	92,688,342株
23年3月期1Q	69,192株	22年3月期	69,080株
23年3月期1Q	92,619,224株	22年3月期1Q	92,620,272株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在における将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①当第1四半期の経営成績

当第1四半期における経済環境は、米国では景気的最悪期を脱し回復基調で推移しておりますが、欧州では依然として低迷が続いており、また中国等の新興国群では、各国で状況は異なるものの景気は拡大基調で推移しております。日本においては、景気の悪化は底打ちし企業業績や個人消費等に回復がみられはじめ、先行き不透明ながらも、回復基調で推移しております。

このような経済環境にあつて、当社グループは、グループ総合力を結集し「利益ある持続的成長」に向け再発進することを目標に、新たな中期経営計画を策定し取り組み始めております。

こうした中で、当第1四半期の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、前年同期と比べると、欧州においてユーロ安による為替の影響を受け悪化いたしました。米国では改善傾向にあり、また国内や中国・アジア等でも好調に推移したことから、売上高は、219億5千万円となり、前年同期と比べ9.1%の増加となりました。

利益面では、製品開発や販売網強化への資源投資等で経費が増加いたしました。売上高の増加等により、前年同期と比べると、営業利益は改善いたしました。しかしながら、黒字転換までは至らず、営業利益は△15億8千4百万円（前年同期と比べ2億7千3百万円の増加）の損失、これに加え為替の影響により、経常利益は△22億5百万円（前年同期と比べ△2億1千4百万円の減少）の損失、四半期純利益は△15億7千8百万円（前年同期と比べ2億3千7百万円の増加）の損失となりました。

## ②事業セグメント毎の経営成績

ポジショニングビジネスでは、円高の影響を受けたものの、米国市場が伸長したことにより、売上高は118億1千7百万円となり、前年同期と比べ12.8%の増加となりました。営業利益は、△9億1千万円の損失となりましたが、売上高の増加に伴う収益の改善によって、前年同期と比べ2億6千6百万円の増加となりました。

アイケアビジネスでは、米国市場では回復基調で推移しましたが、円高の影響を受けたこと等により、売上高は67億9千4百万円となり、前年同期と比べ△5.5%の減少となりました。営業利益は、この売上高の減少や開発費の増加等により、△3億1百万円の損失となり、前年同期と比べ△3億5千9百万円の減少となりました。

ファインテックビジネスでは、プロジェクター関連製品が大きく伸長したこと等により、売上高は33億3千8百万円となり、前年同期と比べ36.6%の増加となりました。営業利益は△3億7千1百万円の損失となりましたが、受注が増加したことにより、前年同期と比べ3億6千6百万円の増加となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①当第1四半期の財政状態の状況

総資産は、主に「受取手形及び売掛金」が減少したこと等により、前期末（平成22年3月期末）に比べ、27億1千4百万円減少いたしました。また、純資産は、「四半期純損失」の計上に伴う利益剰余金の減少、及び円高の影響による「為替換算調整勘定」の減少等により、32億3千万円減少いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末（平成22年3月期末）に比べ、2.0%減少しました。

## ②当第1四半期のキャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前四半期純損失や、設備投資ならびに配当金等の支払いによる「資金」の減少があつたものの、売上債権の減少等により、前年度末に比べ、16億6千1百万円増加し、188億7千1百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における営業活動による「資金」の増加は、8億7千5百万円（前年同期は14億8千4百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失22億3千3百万円から減価償却費10億9千1百万円を調整した支出や法人税等の支払6億2千5百万円等による「資金」の減少の一方、売上債権の減少37億3千万円等による「資金」の増加によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期における投資活動による「資金」の減少は、4億1千7百万円（前年同期は10億4百万円の減少）となりました。これは主に、設備投資4億3千3百万円や無形固定資産の取得による支出3億7千4百万円等による「資金」の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における財務活動による「資金」の増加は、13億9千7百万円（前年同期は6千9百万円の増加）となりました。これは主に、短期の借入金の増加2億1千5百万円による「資金」の増加の一方、長期借入金の返済による支出4億2千1百万円、配当金の支払1億8千6百万円等による「資金」の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月28日に開示いたしました前回予想においては、主要な為替レートを90円/米ドル、120円/ユーロの前提としておりましたが、最近の為替動向を鑑み、90円/米ドル、110円/ユーロに変更いたします。

これを踏まえた上で、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、為替レートの見直しによる悪化がありますものの、特に米国市場でのポジショニングビジネス等に改善が見込めることから、平成22年4月28日に開示いたしました前回予想から変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

従来、連結子会社のうち、決算日が12月31日であったPoint, Inc. は、連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上、必要な調整を行なっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、決算日を3月31日に変更したことにより、当第1四半期連結会計期間は、平成22年1月1日から平成22年6月30日までの6ヶ月間を連結しております。

これによる影響は軽微であります。

② 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる影響は軽微であります。

③ 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純損失は28百万円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は28百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	増減
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	18,963	17,373	1,590
受取手形及び売掛金	30,568	36,034	△ 5,465
商品及び製品	14,755	14,029	726
仕掛品	5,449	4,372	1,076
原材料及び貯蔵品	4,521	4,364	157
その他	8,889	8,445	444
貸倒引当金	△ 1,321	△ 1,471	150
流動資産合計	81,827	83,147	△ 1,320
固定資産			
有形固定資産	14,553	15,542	△ 989
無形固定資産			
のれん	12,283	13,140	△ 856
その他	2,391	2,335	56
無形固定資産合計	14,675	15,475	△ 799
投資その他の資産	11,768	11,373	395
固定資産合計	40,997	42,391	△ 1,394
資産合計	122,825	125,539	△ 2,714
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	13,668	13,614	53
短期借入金	24,093	22,869	1,224
未払法人税等	670	1,227	△ 557
製品保証引当金	723	759	△ 36
その他	8,630	8,397	232
流動負債合計	47,786	46,869	916
固定負債			
長期借入金	27,837	28,632	△ 795
退職給付引当金	6,975	7,063	△ 88
役員退職慰労引当金	55	57	△ 2
その他	1,712	1,227	484
固定負債合計	36,580	36,980	△ 400
負債合計	84,366	83,850	516

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	増減
純資産の部			
株主資本			
資本金	10,297	10,297	—
資本剰余金	14,711	14,711	—
利益剰余金	16,696	18,461	△ 1,765
自己株式	△ 56	△ 56	△ 0
株主資本合計	41,648	43,414	△ 1,765
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	△ 34	289	△ 324
繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 5	4
為替換算調整勘定	△ 4,428	△ 3,207	△ 1,220
評価・換算差額等合計	△ 4,463	△ 2,923	△ 1,540
少数株主持分	1,273	1,198	75
純資産合計	38,458	41,689	△ 3,230
負債純資産合計	122,825	125,539	△ 2,714

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	増減
売上高	20,112	21,950	1,838
売上原価	12,156	13,187	1,031
売上総利益	7,956	8,762	806
販売費及び一般管理費	9,814	10,347	533
営業損失(△)	△ 1,858	△ 1,584	273
営業外収益			
受取利息	21	10	△ 11
受取配当金	53	21	△ 31
持分法による投資利益	—	85	85
為替差益	201	—	△ 201
その他	186	165	△ 21
営業外収益合計	463	283	△ 179
営業外費用			
支払利息	354	300	△ 54
持分法による投資損失	54	—	△ 54
為替差損	—	539	539
その他	186	64	△ 121
営業外費用合計	595	904	309
経常損失(△)	△ 1,990	△ 2,205	△ 214
特別損失			
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	28	28
特別損失合計	—	28	28
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,990	△ 2,233	△ 243
法人税、住民税及び事業税	△ 14	57	71
法人税等調整額	△ 150	△ 751	△ 600
法人税等合計	△ 165	△ 693	△ 528
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△ 1,539	—
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 9	38	48
四半期純損失(△)	△ 1,816	△ 1,578	237

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,990	△ 2,233	△ 243
減価償却費	1,292	1,091	△ 200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△ 60	△ 66
受取利息及び受取配当金	△ 75	△ 32	42
支払利息	354	300	△ 53
持分法による投資損益(△は益)	15	△ 85	△ 101
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 49	△ 88	△ 38
売上債権の増減額(△は増加)	1,830	3,730	1,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 251	△ 3,139	△ 2,888
前払費用の増減額(△は増加)	375	△ 530	△ 905
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 1,306	1,563	2,870
未払費用の増減額(△は減少)	△ 47	558	605
その他	1,667	564	△ 1,102
小計	1,820	1,639	△ 181
利息及び配当金の受取額	77	50	△ 27
利息の支払額	△ 358	△ 189	169
法人税等の支払額	△ 54	△ 625	△ 571
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,484	875	△ 609
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△ 206	△ 20	185
定期預金の払戻による収入	84	92	8
有形固定資産の取得による支出	△ 625	△ 433	191
有形固定資産の売却による収入	85	36	△ 49
無形固定資産の取得による支出	△ 20	△ 37	△ 16
投資有価証券の取得による支出	△ 274	△ 0	274
子会社株式の追加取得による支出	△ 3	△ 1	2
長期貸付けによる支出	△ 21	—	21
長期貸付金の回収による収入	4	12	7
その他	△ 27	△ 65	△ 37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,004	△ 417	587
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)	472	2,115	1,643
長期借入金の返済による支出	△ 125	△ 421	△ 296
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△ 55	△ 46	8
配当金の支払額	△ 185	△ 186	△ 0
その他	△ 36	△ 63	△ 26
財務活動によるキャッシュ・フロー	69	1,397	1,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 14	△ 193	△ 178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	535	1,661	1,126
現金及び現金同等物の期首残高	14,720	17,209	2,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,255	18,871	3,615

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位:百万円)

	ポジショニング ビジネス	アイケア ビジネス	ファインテック ビジネス	連結
外部顧客に対する売上高	10,479	7,188	2,444	20,112
営業損益	△1,177	57	△738	△1,858

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) (単位:百万円)

	ポジショニング ビジネス	アイケア ビジネス	ファインテック ビジネス	連結
外部顧客に対する売上高	11,817	6,794	3,338	21,950
営業損益	△910	△301	△371	△1,584

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	消去及び 全社	連結
外部顧客に対する売上高	6,149	4,844	5,770	1,768	1,580	—	20,112
セグメント間の内部売上高	5,139	1,531	2	686	21	(7,381)	—
計	11,288	6,375	5,772	2,455	1,601	(7,381)	20,112
営業損益	△1,062	△458	△284	117	△8	(161)	△1,858

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	消去及び 全社	連結
外部顧客に対する売上高	6,232	6,044	5,588	2,586	1,498	—	21,950
セグメント間の内部売上高	3,701	1,588	296	215	69	(5,870)	—
計	9,933	7,632	5,885	2,801	1,567	(5,870)	21,950
営業損益	△996	△432	△92	162	△34	(191)	△1,584

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) (単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	計
海外売上高	3,589	5,864	2,171	2,182	1,641	15,450
連結売上高						20,112
連結売上高比(%)	17.8	29.2	10.8	10.8	8.2	76.8

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) (単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	計
海外売上高	4,807	5,288	2,359	2,517	1,743	16,715
連結売上高						21,950
連結売上高比(%)	21.9	24.1	10.8	11.5	7.9	76.2

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。